

トピックス



中央区まるごとミュージアム2013

11月4日、「中央区まるごとミュージアム2013」が区内全域で開催されました。当日は「薬研堀講談の会」や企画展・展示会などさまざまなイベントが行われました。参加された皆さんは区内を巡る船で水辺からの中央区を堪能したり、人力車に乗って楽しんだりしていました。

社会において高齢化が進む中、現在のシニア世代には、豊かな経験や特技を生かした地域での活躍が期待されています。

「人材をお探しなら、私達にお任せください」
「粹！活き江戸っ子くらぶ」
活動依頼募集中

「粹！活き江戸っ子くらぶ」 （元気高齢者人材バンク） のおしらせ

「粹！活き江戸っ子くらぶ」では、地域活動や社会貢献活動を希望する登録者と、人材を必要とする団体などからの依頼をコーディネートし、活動に結びつけています(過去の活動例については、別表1のとおり)。

別表1

こんな活動をしています

- ・ 講座・セミナーの講師 (折り紙、アロマセラピー、書道、盆踊り、昔あそびなど)
- ・ 演芸披露 (楽器演奏、長唄、朗読、フラダンス、日本舞踊など)
- ・ 福祉施設などの補助ボランティア (外出サポート、食事配膳、レクリエーション補助など)
- ・ イベントのボランティアスタッフ (受付、会場案内、会場設営など)

過去の活動例

- ・ 保育園や小学校で昔あそび教室を開催
- ・ NPO主催音楽イベントでのサポータースタッフ
- ・ 高齢者施設で英会話教室を開催など

「経験や特技を生かして社会貢献してみませんか」
登録者募集中

これまでの経験や資格、特技を生かして地域活動、社会貢献活動をしたい方、講師や指導者として活躍してみたい方は、ぜひ「粹！活き江戸っ子くらぶ(元気高齢者人材バンク)」にご登録ください。

登録対象
おおむね50歳以上の方
◎区内在住・在勤者、以前にお住まいの方、お勤めの方も可

登録方法
登録申込書を郵送しますので、問合せ先へご連絡ください。

※問合せ先
高齢者福祉課高齢者福祉係
☎(3546)5353
粹！活き元気人サイトホームページアドレス
<http://kiki.genki365.net>

中央区 区内散歩

～史跡と歴史を訪ねて～

第1～9集を販売しています

昭和60年度から平成22年度まで「区のおしらせ 中央」に連載していた「区内散歩」を中央区文化財調査指導員などが新たに加筆し、より内容を充実させたものを「中央区区内散歩」として発刊しています。

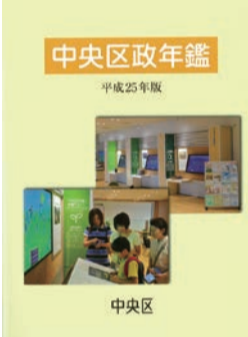
中央区内の名所、歴史、旧跡などを紹介していますので、ぜひご愛読ください。

著者
江戸歴史研究家
川崎房五郎(第1～4集)
中央区文化財調査指導員
野口孝一(第4～9集)

規格
新書判160頁～260頁程度

平成25年版区政年鑑を販売しています

区では、本区を広く紹介するため、最新のデータをもとに本区の施策と事務事業の概要をまとめた区政年鑑を発行しています。



平成25年版中央区政年鑑

中央区区内散歩「史跡と歴史を訪ねて」(左上から第1～9集)

別表2

名称	価格
中央区区内散歩 第1集・第2集・第3集・第4集	各500円
中央区区内散歩 第5集・第6集	各400円
中央区区内散歩 第7集	600円
中央区区内散歩 第8集	700円
中央区区内散歩 第9集	630円

昭和60年度から平成22年度まで「区のおしらせ 中央」に連載していた「区内散歩」を中央区文化財調査指導員などが新たに加筆し、より内容を充実させたものを「中央区区内散歩」として発刊しています。

中央区内の名所、歴史、旧跡などを紹介していますので、ぜひご愛読ください。

著者
江戸歴史研究家
川崎房五郎(第1～4集)
中央区文化財調査指導員
野口孝一(第4～9集)

区では、本区を広く紹介するため、最新のデータをもとに本区の施策と事務事業の概要をまとめた区政年鑑を発行しています。区政をご理解いただく一助にぜひ活用ください。

頒布価格
1280円

頒布場所
区役所1階情報公開コーナー

※問合せ先
広報課広報係
☎(3546)5216

ちょっと知っ得！
区内の文化財

郵便発祥の地
区民史跡

日本橋一丁目18番1号
日本橋郵便局

情報通信の発達著しい昨今、メール(E-mail)と言え、郵便・郵便物の意味より、電子メールを意味することの方が多いかもしれません。とは言え、郵便を介する信書(書状・はがき)などは、殊に相手のぬくもりや思いが伝わる古代からの貴重なふみの文化です。

今回の文化財は、日本における近代的な郵便事業が開始された歴史上重要な場所「郵便発祥の地」を紹介します。「郵便」という言葉が遣われ始めたのは、今から約1400年前の明治初年のことで、これ以前の日本では伝馬や飛脚が文書・小荷物などを送達していました。

五街道や脇街道が整備された江戸時代には、街道の宿場で継立(人馬を替えて送り継ぐ)する「伝馬制度」や「飛脚制度」(宿場ごとに人足が交替する幕府公用の「継飛脚」、国元と江戸藩邸との通信用の「大名飛脚」、町人営業の「町飛脚」(江戸の定飛脚・大坂の三度飛脚・京都の順番飛脚)などが情報伝達の手段として発達しました。

明治新政府になると、幕藩体制以来のネットワーク(宿駅などの交通網)を利用しながら、国内の政治的統一を図るための制度改革と新たな情報網の確立を急ぎ行いました。このため、欧米諸国で各国間の自由郵便を可能とする国際郵便網を制度化(1874年に国際組織「万国郵便連合」設立、日本は1877年に加盟)する動きがあり、日本でも従来の飛脚制度に代わる通信事業の近代化が必要となったのです。

日本の近代郵便制度は、明治3年(1870)に「駅通権正・前島密」(1835～1919)が建議した官営独占による郵便事業の創設が契機となり、明治4年3月1日、東京―京都―大阪の3都市とその間を結ぶ東海道筋の宿駅(62カ所の郵便取扱所)で新式郵便業務が開始されました。そしてこの時、江戸橋南詰の当該地に新設されたのが、郵便・輸送行政を専管した官庁「駅通司」(駅通寮・駅通局と改称、通信省へと移管・移転)と取扱機関「東京郵便役所」(東京中央郵便局に発展、同局の丸の内移転後に日本橋郵便局)です。郵便切手の発行(明治4年)・全国均一料金制(明治6年)など、郵便物を公私の別なく迅速・低料金で届ける新式郵便制度はこうして誕生しました。現在、日本橋郵便局前には、日本の郵便事業の地を証徴するよう、前島密の胸像をいたたく石碑が建立されています。

中央区主任文化財調査指導員
増山一成

「区のおしらせ 中央」は区役所、特別出張所、区民館などの区施設、コミュニティバス、区内公衆浴場・一部金融機関・百貨店・ファミリーマート(一部店舗を除く)・東京メトロの駅(銀座・東銀座・八丁堀・日本橋・人形町・茅場町・小伝馬町・水天宮前・月島)・文化堂でも配布しています。